

(様式1)

ながのまちづくり活動公開審査申込書

申込年月日	平成25年2月4日	受付番号	25
活動部門・コース	1 企画・研究部門	2 実践活動部門	① ホップコース(スタート枠) ② ホップコース ③ <u>ステップコース</u> ④ ジャンプコース
団体の名称	(フリガナ) アートリノー a r t R e n o		
団体の所在地			
代表者	(フリガナ) イシグロ チトセ 氏名 石黒 ちとせ		
連絡先 (連絡責任者)			
団体の設立年月日	平成23年 7月 1日		
団体の 設立目的	近年アパート・マンション・テナントビル等の空き室の増加が進み、所有者の手におえない状況に陥っている物件も多い。地域性に合った新しい発想による賃貸ビルを活用したまちづくりが必要である。今あるものを活用し、新しい付加価値を生み出す「リノベーション」は時代のニーズに合った発想である。art Reno はリノベーションの方向性を「アート」に絞り、リノベーションの方法や途中経過を公開することで、長野の地域性に合った「リノベーション」のアイデアが生まれ、まちづくりの一助となることを目的とする。		
団体の 活動実績	・平成23年7月「art Reno」グループ結成 ・平成23年7～11月 各種リノベーション案と実現性の検討 ・平成24年4月～ 中古集合住宅リノベーション案コンペイベント「art Reno コンペ1st シーズン」が支援事業(ホップコース)となる。 ・平成24年5月 信州大学工学部建築学科寺内研究室と連携開始。 ・平成24年5～8月 コンペルール(募集要項等)作成。 ・平成24年9月～平成25年2月 コンペ開催。 全国より112名の応募、73作品の提出があり大成功。		
構成員(会員)数	7名		

応募する活動のタイトル	「アトリノーコンペ1stシーズン」入賞作品の公開活動	
応募する活動の目的及び達成目標	<p><現在の地域や社会の問題・課題と応募する活動の目的></p> <p>現在、新築の不動産物件ですら需要は確実ではなく、また古い物件をリフォームしたからと言って、必ずしも空き室がなくなる保障はなく、耐震対策や修繕やリフォームに今から投資して良いか悩んでいるビル・マンションのオーナーは少なくない。空き室を放置していれば、建物が傷み、町が寂れ、人が集まらないという悪循環に歯止めがかからなくなる。築30年超の中古集合住宅の「リノベーション」の途中経過をいろいろな手法で公開し、再生のモデルケースとして示しながら、新たなまちづくりへの提案や、同様な悩みを抱える物件オーナーへの情報発信を図る。「リノベーション」の面白さ、楽しさ、有効さを長野にも広めたい。</p> <p><応募年度の達成目標></p> <p>「art Reno フェスタ1stシーズン」への集客目標値=100名、「art Reno ブック1stシーズン」の販売目標値=300部、HPおよびSNSのアクセス目標値=1000人。</p>	
応募する活動の具体的内容	<p><※実施項目、場所、対象者など></p> <p>前年開催した築34年の中古集合住宅リノベーション案コンペの入賞作品を、いろいろな手段（発表会、冊子の作成と配布、HP、SNSの活用等）で広告し、また並行して対象物件オーナーと調整しながら、実際に採用して形にし、その途中経過や採用後のビルの様子を公開する。賃貸物件の「リノベーション」の考え方などについて、学べる場を設け、不動産賃貸業関係者（建築設計・不動産仲介業・不動産管理者等）の啓発活動を行う。</p>	
年間計画	4月	SNS（facebook）開設 /コンペ入賞者と打合（採用実施に向けて）
	5月	HPリニューアル /コンペ入賞者とフェスタ出場依頼等調整
	6月	リノベーション採用案について実施への調整
	7月	東京賃貸住宅フェア見学 & メンバー勉強会
	8月	「art Reno フェスタ1stシーズン」準備打合会議×2回
	9月	「art Reno フェスタ1stシーズン」準備打合会議×2回
	10月	「art Reno フェスタ1stシーズン」開催
	11月	「art Reno ブック1stシーズン」制作会議×3回
	12月	「art Reno ブック1stシーズン」制作会議×3回
	1月	「art Reno ブック1stシーズン」制作
	2月	「art Reno ブック1stシーズン」印刷&広報
3月	「art Reno ブック1stシーズン」販売開始	

<p>活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果</p> <p>※「公益性」の視点</p>	<p>前年度の活動を通して、全国の他の都市と比べ、長野には「リノベーション」という考え方が普及していないという事実が明確に認識できた。その逆に、首都圏をはじめと大都市や地方都市では、新しい時代のビル経営やまちづくりの考え方・人をつなぐ有効な手段として、既に成果を上げ普及している。今回「リノベーション未開の地」＝長野で開催したこの小さなコンペに対し、全国から想定外の参加数があり、長野にこの考え方を広める必要性と、それを広めるための活力があることを知ることが出来た。中古賃貸住宅のリノベーションによる再生のモデルケースを公開していく我々の活動は、長野に対する、新しい時代のまちづくりの手法の提案となると確信する。この新しい有効な手段を、具体例をもって楽しみながら市民を巻き込める活動にしていきたい。</p>
<p>活動を継続するための取り組み（資金面、人材等）</p> <p>※「自立性」の視点</p>	<p>当初は協賛を集める資金調達方法をメインに考えていたが、情報共有する会員制度や勉強会・講演会やワークショップやプレゼンイベントなど、多くの市民を巻き込む方向での資金調達も成り立たせることを検討していきたい。その為にも、仕掛ける側（art Reno メンバーや専門家）のノウハウを増やせるように、外の成功事例を学ぶ姿勢や勉強出来る体制も検討したい。</p>
<p>翌年度以降の活動内容の概要</p>	<p><翌年度> リノベーション成功事例を公開し、新しいリノベーションを行おうとするマンションオーナーを募集し、アートコンセプトまたはそれ以外のテーマコンセプトのリノベーションコンペ「art Reno コンペ 2nd シーズン」を企画する。</p> <p><翌々年度> 「art Reno コンペ 2nd シーズン」を開催する。 リノベーションを広めるためのイベントを検討・開催する。</p>
<p>事業の最終目標</p>	<p>本事業の最終目的は、地域社会に「リノベーション」という発想を広め、長野市に、まちづくりのアイデアが広がり、人を集め、活力となることである。その為にも独創的な「リノベーション」のアイデアと実践を発信しつづけたい。</p>

